

知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

■開催概要

日 時		場 所
9月13日（日）	10:00～15:00	相模原麻溝公園芝生広場
9月14日（月）	10:00～15:00	市役所本庁舎本館1階ロビー
9月15日（火）	10:00～15:00	ダイエー津久井店
	17:00～20:00	相模湖駅
9月16日（水）	10:00～15:00	相模原イッツ3階入り口付近
9月19日（土）	10:00～15:00	淵野辺公園銀河アリーナ出入り口前
9月24日（木）	10:00～15:00	アリオ橋本
9月26日（土）	10:00～15:00	相模大野駅北口ペDESTリアンデッキ

■実施方法

パネルにより市の魅力やシビックプライドに関して説明・対話を行い、シールやコメント型付箋によりご意見を寄せていただいた。



知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

参加者数

年代	参加者数(うち市外在住者)	コメント数(うち市外在住者)
22歳以下	58(13)人	47(9)人
22～29歳	34(11)人	32(9)人
30～39歳	109(31)人	101(26)人
40～59歳	167(37)人	164(36)人
60歳以上	167(13)人	155(9)人
合計	535(105)人	499(89)人

日時・場所	参加者数(うち市外在住者)	コメント数(うち市外在住者)
9/13・相模原麻溝公園	136(59)人	109(45)人
9/14・市役所本庁舎	49(9)人	47(9)人
9/15・ダイエー津久井店	22(1)人	22(1)人
9/15・相模湖駅	25(5)人	25(5)人
9/16・相模原イツ	55(7)人	55(7)人
9/19・淵野辺公園	103(9)人	98(8)人
9/24・アリオ橋本	44(3)人	44(3)人
9/26・相模大野駅	101(12)人	99(11)人
合計	535(105)人	499(89)人

実施中の様子



知って！おしえて！さがみはら愛(結果)

■ パネル内容

1 **調査中!** **知って!おしえて!**
さがみはら愛
皆さんのご意見をお聞かせください!

参加はとっても簡単
パネルを見て感じたこと、
番帳思っていることなどをふせん やシール を使ってパネルに貼るだけ!

市内在住の方 市外在住の方

ふせん シール ふせん シール

年代別
カラー

- 22歳
- 23-29歳
- 30-39歳
- 40-49歳
- 50歳+

ご参加いただいた方には、
プレゼントをお渡しします!

この調査は、現在検討中の「(仮称)シビックプライド条例」の参考にするために実施します。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策】
職員はマスクを着用し、随時、手指・物品の消毒をしています。
パネルをご覧になる際は、ソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。

— 相模原市主催 —

▲ 参加方法を説明しました。

2 **相模原市の魅力**

相模原市には、たくさんの魅力があります。例えば・・・
あなたが思う「相模原市の魅力的なところ」にシールを貼ってください!

#音楽が
楽しみなまち!

#スポーツが
楽しめるまち!

#子育て
しやすいまち!

#医療制度が
充実したまち!

#楽しいお祭り
があるまち!

#豊かな自然を
楽しめるまち!

▲ まちの魅力をお聞きしました。

3 **どのくらいの方が、
市や地域への誇りや愛着を持っている?**

様々な魅力がある相模原市...ですが、
「住民が市や地域への誇りや愛着などを持っているか」を調べたところ...

市による世論調査の結果
「市に愛着や誇りを感じている」と答えた率
調査対象：相模原市在住者 (3,000人)

平成22年	平成25年	平成28年	令和元年
76.6%	78.2%	73.6%	71.7%

約7割の人は、愛着・親しみを感じている。
10年前に比べて、少しずつ愛着・親しみを感じている人が増えてきている。

残りの3割の人にも、このまちを
好きになってもらいたいなあ。

民間会社による調査結果
調査対象：調査・調査の101自治体の住民

順位	総合	東管	西管	共通	圏外居住者向	圏内居住者向
1	港区	港区	港区	港区	港区	港区
2	西宮市	西宮市	文京区	文京区	西宮市	西宮市
3	文京区	真面目市	西宮市	武蔵野市	目黒区	文京区
...
相模原市	78位	69位	82位	88位	80位	65位

全体の真ん中くらいだね!もっともっと、みんなにとっての
「大好きなまち!」「誇れるまち!」になりたいなあ。

▲ まちへの誇りや愛着について
現状をお伝えしました。



知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

■ パネル内容

4

まちへの誇り・愛着があふれる
シビックプライドが高いまちへ

市民が都市(まち)に対して
「誇り」、「愛着」、「共感」を持ち、
「まちのために、自ら関わっていかうとする気持ち」のことを

シビックプライド
といいます

「シビックプライド」が向上すると・・・

- ボランティア活動が活発になる
- 自治会活動が活発になる
- 住民同士のコミュニケーションが活発になる

地域コミュニティの活性化につながる
住民の「住み続けたい気持ち」が向上する
(定住人口の維持・増加)

将来もいきいきとしたまちでありつづけるために、
相模原市は、シビックプライドの向上を目指します！

▲ シビックプライドとは何かをご説明しました。

5

そこで、条例をつくることに決めました！

「(仮称)シビックプライド条例」の制定に向けた検討

ねらい 条例をつくることで、シビックプライドを育み、市民のまちづくりへの参画意識を高めて、地域コミュニティの活性化につなげたい！
学識経験者や公募市民などからなる検討委員会で、話し合っています。

検討委員会の意見

条例をつくと、みんなで理念を共有できる！

具体的な指針や方向性が
はっきりして分かりやすい！

条例をつくること自体に話題性があり、
まちづくりに前向きな印象を与えることができる。

シビックプライドの向上に関する条例の制定は必要

現在、条例案を検討中です！

▲ 条例化を目指している経緯をお伝えしました。

6

今はこんな条例案です①

みなさんの意見をふせんに書いて、
パネル「B」に貼ってください。

「(仮称)シビックプライド条例」案をご説明します！

条例をつくる目的は？

シビックプライドの向上に取り組むための基本的なことを決めます。

条例の基本的な考え方は？

さがみはらが好きな人が市内外にあふれるまちを目指して、
シビックプライドの向上に取り組んでいきます。

どんな内容が検討されているの？

さがみはらが好きな人を増やしていくために、まちに関わる様々な人・団体が積極的に取り組む内容や、それぞれが進んで市の魅力を発信することなどを盛り込んだ条例を検討中です。

… 例えば …

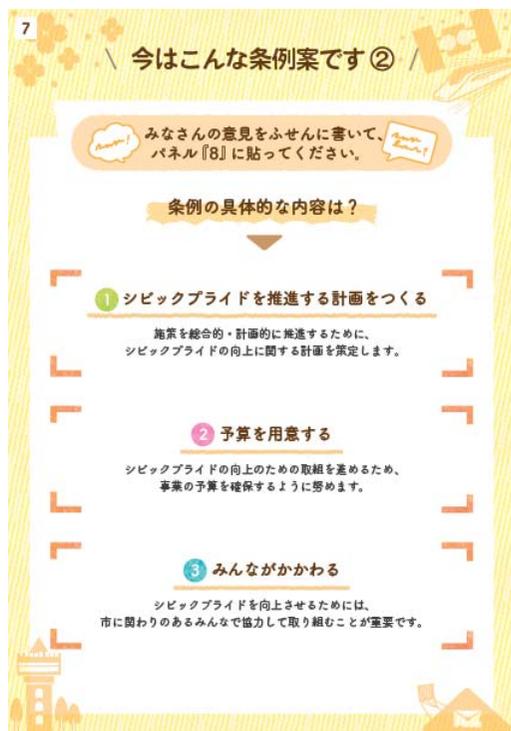
- 市は、シビックプライドの向上に関する総合的な施策を推進します。
- 各区は、各区の特徴を踏まえたシビックプライドの向上のための取組を進めます。
- 市長や市職員は、自らセールスマンとして市や地域の魅力を発信するとともに、日々、シビックプライドの向上を推進した職務の遂行に努めます。 など

▲ 条例案(実施時点)を説明しました。(1)



知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

■パネル内容



▲ 条例案(実施時点)を説明しました。(2)



▲ シビックプライドや条例案について思ったことを貼っていただきました。

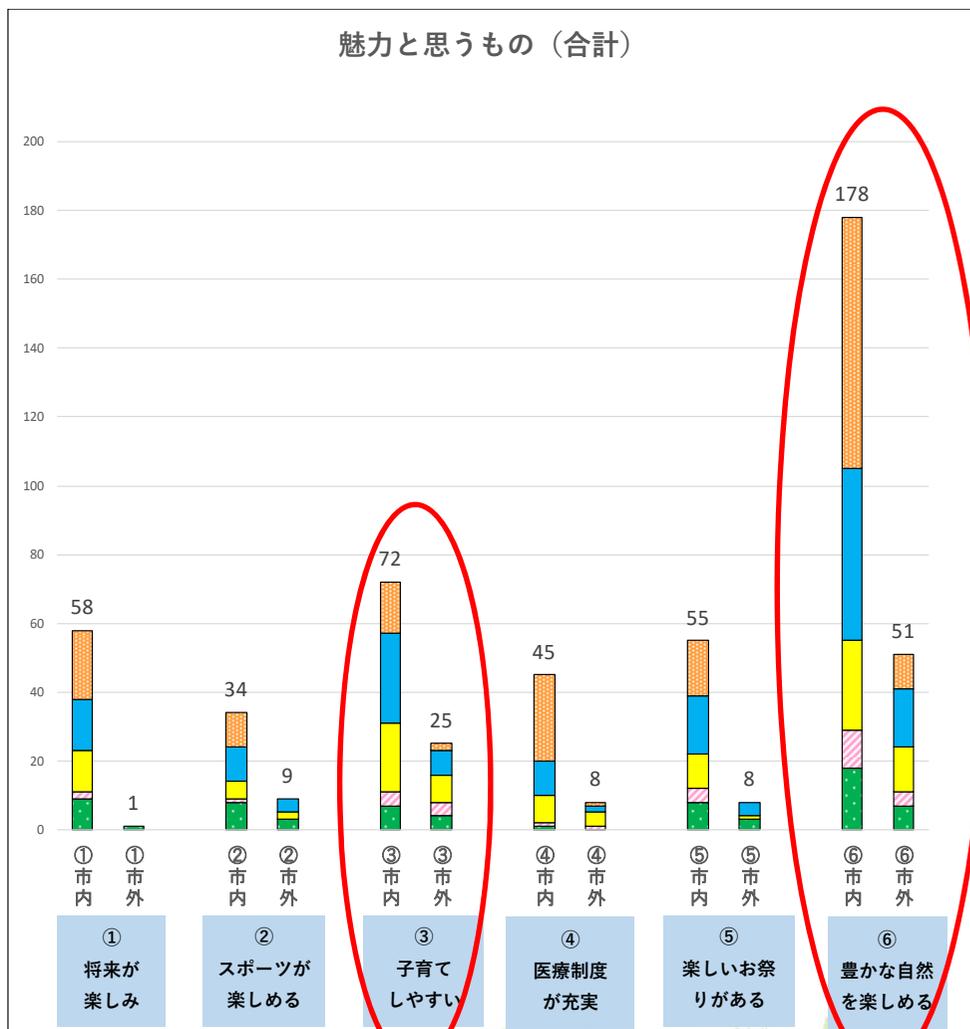


▲ 「シビックプライドを高めたい」「さがみはらファンだ」などの思いでハートを彩っていただきました。



知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

■パネル②:「あなたが魅力的だと思うもの」集計



- 60歳以上
- 40～59歳
- 30～39歳
- 23～29歳
- 22歳以下

○市内外ともに、「豊かな自然を楽しめる」ところに魅力を感じている人が多い。

○子育て世代は「子育てしやすい」ところにも魅力を感じている。

○他の項目に関しては、市内在住者には魅力を感じていただけているが、市外在住者には魅力を感じていただけていない。

※複数回答あり。



知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

■パネル⑧：まちへの誇りや愛着、シビックプライド及び条例案に関して寄せられたご意見

○「(仮称)シビックプライド条例」に関する意見 = **135**

賛成意見	反対意見	その他
116	7	12

○その他の意見・要望等 = **364**

⇒ 施設、インフラ、イベントなどに関する市への要望
市の魅力や情報発信に関する意見 等



知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

■パネル⑧：まちへの誇りや愛着、シビックプライド及び条例案に関して寄せられたご意見

○「賛成」のご意見（一部）

- ・良い取組だと思う。ぜひ進めてほしい。
- ・子どもや高齢者にも分かりやすい条例がよい。
- ・住民をしめつける条例で無く、意識をたかめられるものにして欲しい。
- ・発想が新しく、市民の一つの指針にもなる。
- ・条例を制定した後も重要である。
- ・愛着があれば市に対する行動も変わり魅力も上がっていくため、とても良いと思う。
- ・市への愛着を持てるように一生懸命取り組むべき。
- ・条例があるとみんなのシビックプライドに対する意識が高まると思うので、あるといいです。

○「反対」のご意見（一部）

- ・条例に反対。意味がなく、やることは他にもある。
- ・条例は作らなくて良い。自治会活動、住民同士のコミュニケーション、働いている方が多いので難しく、コミュニケーションも安全性が不明なので嫌。
- ・条例を作るよりも、もっと先に考える事がたくさんあると思うので、反対。
- ・「条例」ではなく、まずは「市の理念」の周知がよいのではないかと思う。
- ・市民が条例で市を好きになるというのは義務になり、逆に心が離れると思う。民を守るとか、そういう事を実感出来てこそ愛着が生まれるのでは。

○その他のご意見（一部）

- ・条例も良いが、子どもや高齢者に関する取組を充実すれば人が集まる
- ・条例にこだわらず、市の方向性を示してほしい
- ・条例つくることによって、具体的にどんな成果を出せるのかわかりづらい。
- ・市民が地域に関心を持てる（自分のことのように思える）ような条例を望む。良い思い出が市への愛着をつくると思う。
- ・相模原市はとても広いため、相模原「全体」に誇りを持つ人は少ないと思う。市内の地区になら愛着があるが、相模原市「全体」に共通するものがないために、シビックプライドが減っているのではないか。

知って！おしえて！さがみはら愛（結果）

■パネル⑨：「シビックプライドを高めていきたい！」「さがみはらファンを増やしたい！」「さがみはらファンだ！」と思う方に、シールを貼っていただきました。



ハートから皆さんの思いがあふれました！